



多文化共生連続講座

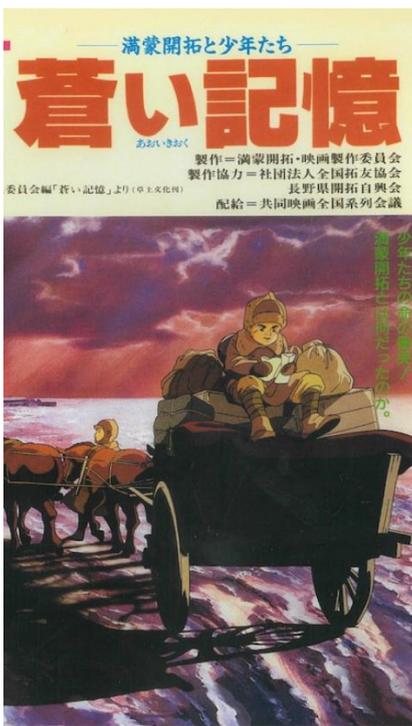
第2講座

中国映画「満蒙開拓と少年たち」『蒼い記憶』上映会

太平洋戦争時、「満州」に開拓団として入った少年たちの苦難を描いたアニメーション

映画です。満蒙開拓青少年義勇軍は、14歳から15歳前後の少年をソ連国境に送り、開拓と警備を担いました。厳寒の地での過酷な生活とソ連対日参戦から始まる逃亡の日々。

多くの少年の命が失われました。(上映時間 90分)



かなやま うめこ ながの さかえ ちゅうごく しこくちゅうごくきこくしゃしえん
金山 梅子さん、永野 栄さん(中国・四国中国帰国者支援・
交流センター)によるお話もあります。

日時:1月15日(日) 13:30~15:30
(開場 13:00)

会場:新市公民館 ホール
(福山市新市町大字新市 820 番地3)

入場無料・申込不要

主催:北部地域振興課

共催:福山市中国帰国者をささえる会

中国・四国中国帰国者支援・交流センター

関連巡回パネル展

「満州開拓団関連資料パネル展」

開催中 ~ 1月6日 北部市民センター
1月11日 ~ 1月15日 新市公民館

問合せ先:北部地域振興課 (Tel 084-976-9460・FAX 084-976-8150)
(E-mail hokubu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp)

中国帰国者の歴史から満州経験者の高齢化問題を考える(報告会)



12月18日(日), 加茂交流館で「中国帰国者の歴史から満州経験者の高齢化を考える(報告会)」をしました。

中国帰国者の過去・現在・未来と、中国帰国者への取組をテーマにパネルディスカッションをしました。広島大学大学院人間社会科学研究科 准 教

授の河本尚江さん、福山市中国帰国者をささえる会の客本牧子さん、中国帰国者3世の石井美芳さん、福山市立大学都市経営学部 准 教授の牧田幸文さんから、それぞれお話を伺いました。

広島大学の河本さんからは、広島県からの満州移民の歴史、人口問題解決のために行われた分郷計画により常金丸開拓団が送り出されたこと。敗戦後、ソ連軍の満州侵攻で何万人もの日本人が逃げまどい、家族と生き別れた子どもたちは中国 人家庭に引き取られ、子どもを抱えた女性は中国人家庭に入り、残留孤児・残留婦人になったこと。戦後30年以上を経て行われた日本への永住帰国は、ほとんどの人が家族と永住帰国をし、子どもや孫世代にも大きな影響を与えていること。

福山市中国帰国者をささえる会の客本さんと中国帰国者3世の石井美芳さんからは、日本語教室「ふ〜じゅ」の紹介と、日本に来て困ったことよかったこと、地域で助けられ、地域で活躍していること。外国人は支援される側から支援する側に、その時その時で立場が変わること。

福山市立大学の牧田さんからは、常金丸分村の記憶をどう残すか、歴史として残す作業に取り組んでいることなどをお話しいただきました。

また、二胡奏者の藤岡一郎さんによる二胡の演奏や楽器の仕組みの紹介もありました。

さらに、参加者どうしの意見交流もしました。その中で、実際にご家族の経験談をはなされる場面もあり、より学習が深まりました。



次回は、表面にある「蒼い記憶」映画上映会を行いますので、ぜひご参加ください。

わたぼうし

登録しよう! 自分で守ろう! 個人情報

『登録型本人通知制度』をご存じですか?

戸籍謄本や住民票の写しなどの証明書や代理人や第三者に交付したとき、事前に登録していただいた人へ戸籍謄本等の不正請求の事実をお知らせする制度です。登録することは自らの人権を守る意思表示でもありません。また、事実関係の早期発見や不正が発覚する可能性が高まることから、不正取得を未然に抑止する効果も期待されます。その結果みんなの人権が守られることにつながります。

